

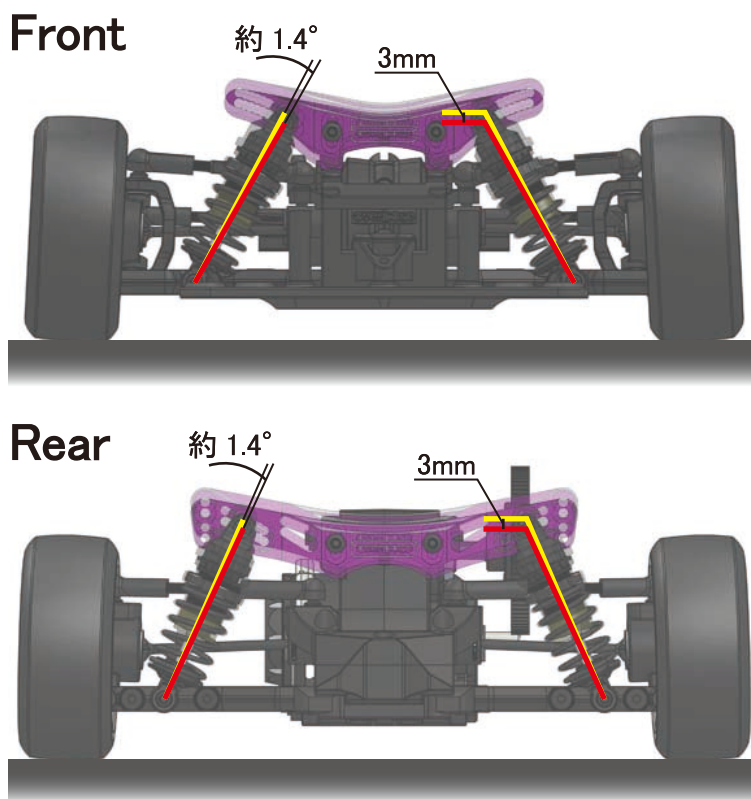
Tip=4

【1】ハイトアジャストショックタワーのもう一つの使い方

XEX用として大変ご好評を頂いているハイトアジャストアルミショックタワー。ショックの取付高さが0.5mmピッチ、最大3mmの幅で調整できるショックタワーです。ロングストロークタイプのショックやリバウンドストロークを増やしたい時などに有効なのですが、今回はもう一つの使い方をご紹介します。

【2】ショックタワーの高さを変えるとショックの取付角度が変わる

下の図をご覧ください。ハイトアジャストショックタワーを使用して高さが最も低い時と高い時で比較すると、ショックの取付角度が約1.4°変化します。1ピッチあたりでは約0.23°の変化になります。このショックタワーは、2°刻みでショックの取付角度が調整できるようにショックの取付穴が配置されていますが、それよりも細かく角度が変化することになります。この微細な変化量を上手に利用して微妙なフィーリングの変化や路面コンディションの変化への対応等々、これまで我慢してきた『あとちょっと』が合わせ込めるようになります。



注) 角度の変化量はショックの取付け位置によって変化します。

【3】具体的なセットアップ方法

全長調整式を採用しているHGショックと合わせて使用するのが最もわかり易いと思いますので、ここではHGショックと合わせた際のセットアップ方法をご紹介します。

- (1) 調整前の車高を測定します。
- (2) 好みの高さ(角度)にショックタワーの高さを調整します。
- (3) ショックタワーを動かした分だけショックの全長を調整します。
(例: ショックタワーを1mm上げた場合は、ショック長を1mm伸ばします。)
- (4) 最後に調整前の車高と同じになっているか確認し、違っていればショック長を微調整します。

=参考=

ハイトアジャストショックタワー: 0.5mm/ピッチ(ギザ1つ分動かすと高さが0.5mm変化します。)

HGショック ショックブラケット: 0.5mm/1回転(ショックブラケットを1回転回すとショック長が0.5mm変化します。)